

東京地区

令和5年度

橋梁技術発表会 及び講演会

参加費
無料

定員
650名

申込
先着順

及び

講演会

— 伊藤學賞表彰式 —

新型コロナウイルスの感染拡大により中止となる可能性があります。

第1部

13:00~13:10

開会の辞

(一社)日本橋梁建設協会 会長 川畑 篤敬

技術発表

13:10~13:50

① モドウモチ橋(夢の架け橋) 工事報告

~バン格拉デシュ初となる、橋梁用高降伏点鋼材(SBHS材)のニールセンローゼ橋の建設~
海外事業委員会

13:50~14:00

休憩

14:00~14:40

② 鋼コンクリート合成床版、PC床版の手引き改訂について

~鋼コンクリート合成床版、PC床版の設計施工、維持管理手引き改訂の説明~
床版小委員会

14:40~15:00

休憩

第2部

伊藤學賞 表彰式

15:00~15:40

① 受賞者紹介 他

② 表彰式

15:40~15:50

休憩

第3部

特別講演

15:50~16:50

伊藤學賞受賞者講演

北海道土木技術会・
鋼道路橋研究委員会の活動と成果

北海道大学名誉教授 林川 俊郎



16:50~17:00

閉会の辞

橋梁技術発表会 実行委員会 委員長 生駒 元

日時

令和5年 **10月13日(金)** 13:00~17:00

会場

銀座ブロッサム(中央会館)ホール
東京都中央区銀座2-15-6

申し込み

Webサイト <https://www.jasbc.or.jp/>
受付は令和5年9月13日~10月3日
※申し込みは、Webサイトからのみです。

連絡先

一般社団法人 日本橋梁建設協会
〒105-0003 東京都港区西新橋1-6-11 西新橋光和ビル9階
TEL.03-3507-5225

継続教育

CPDS対象

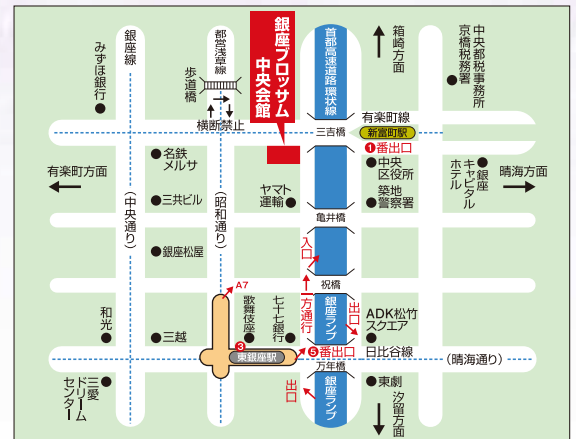
開催地区

●東京地区:10月13日(金) ●中部地区:11月10日(金)
●大阪地区:10月20日(金) ●九州地区:11月17日(金)
●北海道地区:10月27日(金) ●東北地区:12月4日(月)
(6地区開催ですが、発表テーマは異なります)

資料配布

会場では配布いたしません。必要に応じてWeb
サイトより出力し持参願います。

[アクセス]



●東京メトロ有楽町線「新富町駅1番出口」徒歩1分
●東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線「東銀座駅3-5番出口」徒歩8分

主催: 一般社団法人 日本橋梁建設協会
Japan Bridge Association

<https://www.jasbc.or.jp/>

1 モドゥモティ橋(夢の架け橋) 工事報告

本橋はアジア・ハイウェイ1号線のミッシングリンクとなっていたガンジス河支流であるモドゥモティ川渡河部にあり、南アジア周辺の国々をつなぐJICAクロスボーダー道路網整備事業の一環で整備するもので、同地域の貿易促進や経済発展に大きく寄与するものとして期待されています。

当該橋梁は、全長690mの道路橋で、中央部に橋長150mのニールセンローゼ橋、両側径間は、ポストテンションPC-I桁橋12連で構成されています。中央径間に、一際目を引くニールセンローゼ橋の採用理由として、水運利用による船舶の航行に必要な航路限界(桁下空頭7.0m)を確保するため、桁高を低くする必要があったことや経済性に優れていること、「景観上シンボリックな橋梁形式を」というバングラデシュ側の要請もあり下路形式のニールセンローゼ橋が選定され、これは同国で初めての橋梁形式であります。

特筆事項として、主桁アーチ支点部への橋梁用高降伏点鋼材(SBHS-500材)の採用。厚板かつ全姿勢現場溶接のため高度な技術が必要となり、機材、溶接工、検査員を全て日本から手配し日本水準の品質確保を行いました。また、ハンガーケーブルは、高い疲労強度と耐久性に優れたNEW-PWSを使用しました。そして、日本国内でも例のないニールセンローゼ橋としては過去最大の広幅員RC床版(幅員27.1m)であり、部材荷重による引張力対応のため、多様な対策を予め講じて施工を行いました。

2 鋼コンクリート合成床版、PC床版の手引き改訂について

H29道路橋示方書の改定にともない、床版小委員会では、鋼コンクリート合成床版の設計・施工の手引き、維持管理の計画資料(改訂第2版)(2021年1月)、PC床版設計の手引き(改訂 第3版)(2021年10月)、PC床版施工の手引き(場所打ちPC床版編)(改訂第2版)(2022年8月)の改訂作業を進めてまいりました。

H29道示で部分係数設計法へと大きく設計体系が変わったことから、鋼コンクリート合成床版とPC床版の設計手引きについても大幅な改訂を行うとともに、設計例などを示し、設計の流れなどが理解しやすいよう、つとめました。鋼コンクリート合成床版の維持管理の手引きについてもH31橋梁定期点検要領改定を意識した点検マニュアル(案)を記載しました。PC床版施工の手引き(場所打ちPC床版編)については、基準改定に伴う記載の変更に加え、固定式支保工の計算やPC鋼材の緊張要領・管理方法などに関する記述の充実をはかりました。本発表では、これらについて概説するものです。

特別講演会 講演者紹介

北海道大学名誉教授 **林川 俊郎**

講演テーマ

北海道土木技術会・鋼道路橋研究委員会の活動と成果

【略歴】

昭和47年3月 北海道大学工学部土木工学科 卒業
 昭和49年3月 北海道大学大学院工学研究科修士課程 修了
 昭和49年4月 北海道大学工学部助手
 昭和63年8月 北海道大学工学部助教授
 平成 9年4月 北海道大学大学院工学研究科助教授
 平成16年4月 北海道大学大学院工学研究科教授
 平成22年4月 北方圏環境政策工学部門寒冷地建設工学分野教授
 平成25年4月 北海道大学名誉教授
 平成27年4月 (株)ネクスコ・エンジニアリング北海道 技術アドバイザー
 平成27年6月 (株)ドーコン顧問 現在に至る

【講演概要】

鋼道路橋研究委員会の活動内容と得られた成果を特に設計指針の作成を中心に紹介する。また、北海道三大名橋の紹介と、その中でも「旭橋」が一度も床版を取り換えることなく長寿命であることを歴史、技術、人物といった3つの視点から考察する。そして、戦後架設された北海道内の道路橋から優れた橋梁を「新北海道三大名橋」として紹介する。

令和5年度

橋梁術発表会

東京地区

10月13日(金)

参加申込方法▶



一般社団法人 日本橋梁建設協会
Japan Bridge Association

ホームページよりお申込み下さい。

<https://www.jasbc.or.jp/>

「技術発表会」
の申し込みはこちら。